



ハイナイト祈禱課題 2024年10月号

能登半島における災害を覚えて

元旦の大地震からようやく復興の歩みを始めた能登半島の人々が、9月の豪雨で再び大きな試練の中にあります。とりなしの祈りを捧げましょう。

■10月1日現在の被害状況

- ・豪雨による犠牲者：13人、安否不明者4人
- ・避難：454人、断水：2325戸（輪島市・珠洲市・能登町）
- ・元旦の地震による犠牲者：（災害関連死を含む）401人

■町野町（輪島市）では、山々が崩れ、川が大きく氾濫し、家々をのみ込んでいきました。収穫前のお米も水に浸かりました。輪島市珠洲市の多くの被災者が、今回の豪雨で心が折れています。「もう動きたくない！」「ここで死んでしまったほうがいい！」。このような諦めの声が多く届いています。山も海も川も泥だらけで、茶色です。

梶山直樹師（ニュータウンカルバリーフェローシップ）

祈りの課題

- ・度重なる災害で心が折れてしまった方々に、主の慰めと支えがあるように。
- ・愛する人々、仕事、家を失った方々に、主の慰めと癒やしがあるように。
- ・被災した方々の心身が支えられ、震災関連死を未然に防ぐことができるように。
- ・政府や行政が、災害支援復興のために迅速な対応をしていくことができるように。
- ・災害支援に携わる教会と支援団体を、主が祝福してくださるように。
- ・クリスチャンのボランティアたちが、主の愛と力で満たされ、主の光を放つことができるように。
- ・人的・物質的な必要が満たされ、必要な支援が届けられるように。
- ・被災地域の教会を主が守り、支えてくださるように。

1. イスラエルのための祈り

昨年10月7日のテロ攻撃から、1年になります。今も97名がガザ地区で人質として捕らわれ、内30名以上は既に殺されていると言われています。イスラエル国防軍は、人質奪還とハマスを無力化するために、ハマスの拠点や武器庫、地下トンネルへの攻撃を行ってきましたが、いまだにハマスは力を有しています。イスラエルに攻撃をしてくるのは、ハマスだけではありません。レバノンを拠点とするテロ組織ヒズボラ、シリアやイエメン、イラクからも、テロ組織がイスラエルに向けて攻撃し、それらすべての背後にはイランがいます。イスラエルはまさに、四方八方を敵に囲まれています。

8月末には、人質のファルハン・アルカディさんがガザから生きて救出され、イスラエル中が喜びとさらなる人質救出への期待にわきました。しかし、その数日後、地下20メートルのトンネルで、人質6名が遺体で発見されました。そこは、空気も薄く、立つこともできない狭いトンネルです。6名は、発見される1~2日前にハマスによって頭



地下 20 メートルの地下トンネルで、遺体で発見された人質
Photo: Hostage and Missing Families Forum/jns.org

を至近距離で銃殺されていたことが分かっています。彼らは、この11カ月間、想像を絶する過酷な環境と恐怖の中を、希望を失わずに必死で生き延びてきました。今回のニュースは、あまりにもつらく、イスラエル中が悲しみのどん底に突き落とされました。遺体がイスラエルに戻った翌日、ハマスは生前の6名のビデオメッセージを公開し、さらなる痛みを与えています。イスラエルの人々は、いつまでこの苦しみを耐えなければいけない

のかと、出口の見えない苦しみの中にいます。

しかし、神さまはイスラエルを決して見放さず、お見捨てになりません。サタンがどんなにイスラエルを滅ぼそうとしても、神さまがご自身の名に

かけてイスラエルを守り通されます。イスラエルの人々が希望を失わず、イスラエルと共におられる主に堅く立ち続けることができるように、祈りましょう。

待ち望め 主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め 主を。(詩篇27:14)

- ①イスラエルを滅ぼそうとするあらゆる攻撃からイスラエルが守られるように。
- ②ガザで捕らわれている人質が一刻も早く家族の元に帰ることができるように。
今も生きている方々が、生きて救出されるように。
- ③イスラエルの人々の心が守られ、主を待ち望むことができるように。
- ④イスラエルの国のリーダーたちが主により頼み、最善の決断を行うことができるように。

2. 日本のための祈り

世界中で、イスラエルが一方向的にガザ地区への無慈悲な攻撃を行っているという報道が連日行われています。そうした報道のほとんどが、テロ組織ハマスが発表する情報を十分に精査することなく流し、ハマスの狙いどおりイスラエルを悪とする印象を人々に与えています。そうした中、今まで反ユダヤ主義がそれほど表面化していなかった日本でも、反イスラエルデモが行われるようになりました。イスラエルも人が治める国ですから、他の国と同じように、失敗も欠点もあります。しかし、私たちは、イスラエルの状況にかかわらず、神を愛するゆえにイスラエルを愛し、とりなし続けます。戦前の日本で、私たちの信仰の先輩たちは、神の約束を握り、イスラエルの回復を祈り続けました。太平洋戦争に突入してからは、彼



イスラエルの回復を祈り続けた戦前のクリスチャンたち
Public Domain

らの多くが、その信仰ゆえに迫害に遭いました。彼らが命懸けつないでくれた祈りのバトンは、私たちにつながっています。私たち日本のクリスチャンが、この世にあふれている偽りの情報に惑わされることなく、神さまの視点に立ってとりなし続けることができるように、祈りましょう。

主よ あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理のうちを歩みます。 私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。(詩篇86:11)

- ①日本の人々が、偽りの情報や偏った報道に翻弄(ほんろう)されることなく、冷静に正しい情報を受け取ることができるように。特にクリスチャンが、神さまのご計画に立って、イスラエルを愛しとりなし続けることができるように。
- ②日本が国としても、イスラエルを祝福する国となるように。
- ③日本のクリスチャンが終わりの日まで、神と共に立ち続けることができるように。
そのような信仰が、世代から世代へとつながっていくように。
- ④日本全国でもたれるハイナイトの祈り会を主がますます祝福し、その祝福が地域に広がっていくように。

「ハイナイトソング」

視聴・譜面のダウンロード



<https://www.bfpj.org/music/>

「ハイメール通信」

祈りの第一声として
祈禱課題をお届けします(不定期)



<https://www.bfpj.org/pray/chaimail/form/>



特定非営利活動法人 **B.F.P. Japan**(ブリッジス・フォー・ピース)

TEL: 03-5969-9656 FAX: 03-5969-9657 URL: www.bfpj.org

ハイナイトに関するお問い合わせ: chainight@bfpj.org